

作成年月日	令和元年9月30日
作成部局	企画県民部企画財政局市町振興課

県内市町の平成30年度決算見込み(普通会計)及び健全化指標等

1 決算規模

平成30年度の県内市町(29市12町)の決算規模は、前年度に比べ、歳入では、地方譲与税・交付金等及び国庫支出金、繰入金の減少等により、312億円の減(▲1.2%)、歳出では、公債費及び普通建設事業費の減少等により、400億円の減(▲1.6%)となった。

歳入	2兆4,732億円(対前年度比▲312億円、▲1.2%)
歳出	2兆4,242億円(対前年度比▲400億円、▲1.6%)

2 決算収支

実質収支は、災害復旧事業費の増加等により黒字幅は縮小したものの、実質単年度収支は、繰上償還の実施等により黒字を確保した。

(1) 実質収支：240億円の黒字(対前年度比▲18億円)

- ・昭和52年度以来、42年連続黒字
- ・全団体に黒字(最大：姫路市(55.5億円)、最小：三木市(0.54億円))

(2) 実質単年度収支：57億円の黒字(対前年度比+141億円)

- ・22団体黒字(最大：尼崎市(31.1億円))、19団体赤字(最大：播磨町(▲21.5億円))

3 歳入・歳出の状況等

(1) 歳入決算の内訳

(単位：億円、%)

	平成30年度		平成29年度		増減額 c a - b	増減率 c ÷ b × 100
	a	構成比	b	構成比		
1 地方税	9,353	37.8	9,043	36.1	310	3.4
うち市町村民税法人税割	524	2.1	503	2.0	21	4.2
うち市町村民税所得割	3,433	13.9	3,126	12.5	307	9.8
うち固定資産税	3,861	15.6	3,882	15.5	▲21	▲0.5
2 地方交付税等	4,088	16.5	4,112	16.4	▲24	▲0.6
地方交付税	3,000	12.1	3,028	12.1	▲28	▲0.9
臨時財政対策債	1,088	4.4	1,084	4.3	4	0.4
3 地方譲与税・交付金等	1,498	6.1	1,716	6.9	▲218	▲12.7
うち地方譲与税	172	0.7	170	0.7	2	1.2
うち地方消費税交付金	969	3.9	922	3.7	47	5.1
うち株式等譲渡所得割交付金	43	0.2	65	0.3	▲22	▲33.8
4 国庫支出金	3,937	15.9	4,054	16.2	▲117	▲2.9
5 県支出金	1,462	5.9	1,444	5.8	18	1.2
6 地方債(臨財債除く)	1,395	5.6	1,451	5.8	▲56	▲3.9
7 その他	2,999	12.1	3,224	12.9	▲225	▲7.0
歳入合計	24,732	100.0	25,044	100.0	▲312	▲1.2
一般財源(1~3)	14,939	60.4	14,871	59.4	68	0.5
特定財源(4~8)	9,793	39.6	10,173	40.6	▲380	▲3.7

※ 端数処理により、表内において合計が一致しない場合がある(以下、同じ)。

- ① 地方税 9,353 億円 (対前年度比+310 億円、+3.4%)
 ・教職員給与負担事務の県から神戸市への移譲に伴う市町村民税所得割の増 (+265 億円) 等により増加。
- ② 地方交付税等 4,088 億円 (対前年度比▲24 億円、▲0.6%)
 ・清算基準の見直しによる地方消費税交付金や市町村民税所得割等の基準財政収入額の増が、障害児保育に要する経費の引上げ等に伴う基準財政需要額の増を上回ったこと等により減少。
- ③ 地方譲与税・交付金等 1,498 億円 (対前年度比▲218 億円、▲12.7%)
 ・教職員給与負担事務の県から神戸市への移譲に係る経過措置の終了に伴う県民税所得割臨時交付金の減 (▲253 億円) が、清算基準の見直し等による地方消費税交付金の増 (+47 億円) を上回ったこと等により減少。
- ④ 国庫支出金 3,937 億円 (対前年度比▲117 億円、▲2.9%)
 ・児童保護費等負担金の増 (+40 億円)、災害復旧事業費支出金の増 (+16 億円) はあるものの、臨時福祉給付金事業が平成 29 年度で終了したことに伴う減 (▲150 億円) 及び普通建設事業費支出金の減 (▲44 億円) 等により減少。
- ⑤ 県支出金 1,462 億円 (対前年度比 +18 億円、+1.2%)
 ・障害者自立支援給付費等負担金の増 (+14 億円)、災害復旧事業費支出金の増 (+10 億円) 等により増加。
- ⑥ 地方債 (臨時財政対策債除く) 1,395 億円 (対前年度比 ▲56 億円、▲3.9%)
 ・災害復旧事業債の増 (+36 億円) はあるものの、学校教育施設事業債の減 (▲86 億円) 等により減少。

(2) 歳出決算の内訳

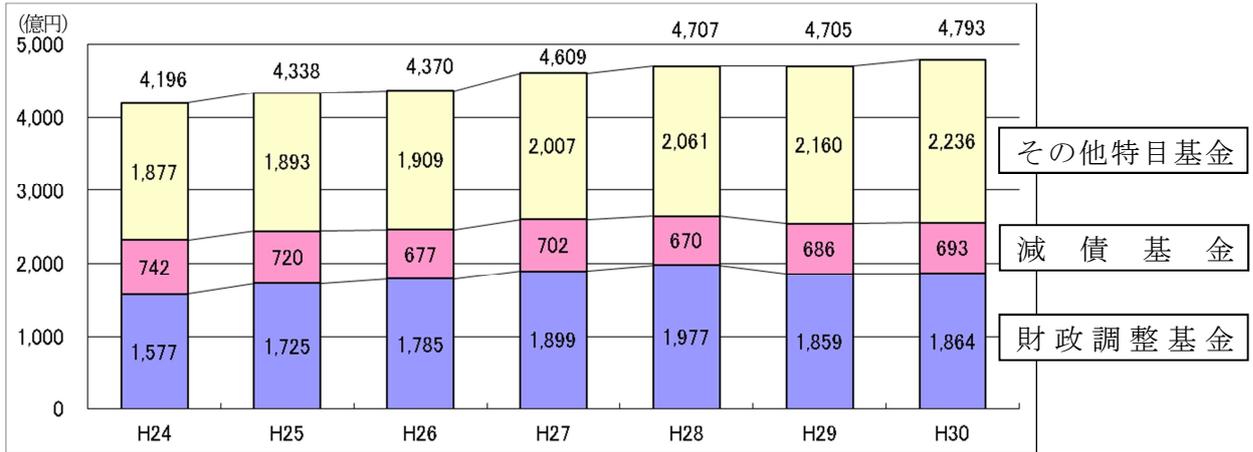
(単位：億円、%)

	平成30年度		平成29年度		増減額 c (a-b)	増減率 c ÷ b × 100
	a	構成比	b	構成比		
義務的経費	13,229	54.6	13,458	54.6	▲ 228	▲ 1.7
人件費	4,474	18.5	4,489	18.2	▲ 15	▲ 0.3
扶助費	5,903	24.4	5,952	24.2	▲ 49	▲ 0.8
公債費	2,852	11.8	3,017	12.2	▲ 165	▲ 5.5
投資的経費	2,793	11.5	2,845	11.5	▲ 52	▲ 1.8
普通建設事業費	2,681	11.1	2,820	11.4	▲ 139	▲ 4.9
うち補助事業費	914	3.8	1,084	4.4	▲ 170	▲ 15.7
うち単独事業費	1,639	6.8	1,623	6.6	16	1.0
その他	127	0.0	114	0.0	13	11.4
災害復旧事業費	113	0.5	25	0.1	88	352.0
その他経費	8,220	33.9	8,340	33.8	▲ 120	▲ 1.4
歳出合計	24,242	100.0	24,642	100.0	▲ 400	▲ 1.6

- ① 義務的経費 1兆3,229 億円 (対前年度比▲228 億円、▲1.7%)
 ・公債費の減 (▲165 億円) 及び臨時福祉給付金事業が平成 29 年度で終了したこと等に伴う扶助費の減 (▲49 億円) 等により減少。
- ② 投資的経費 2,793 億円 (対前年度比▲52 億円、▲1.8%)
 ・平成 30 年 7 月豪雨等に伴う災害復旧事業費の増 (+88 億円) はあるものの、学校施設整備事業等の普通建設事業費の減 (▲139 億円) 等により減少。
- ③ その他経費 8,220 億円 (対前年度比▲120 億円、▲1.4%)
 ・財政調整基金からその他特定目的基金への振替えに伴う積立金の減等により減少。

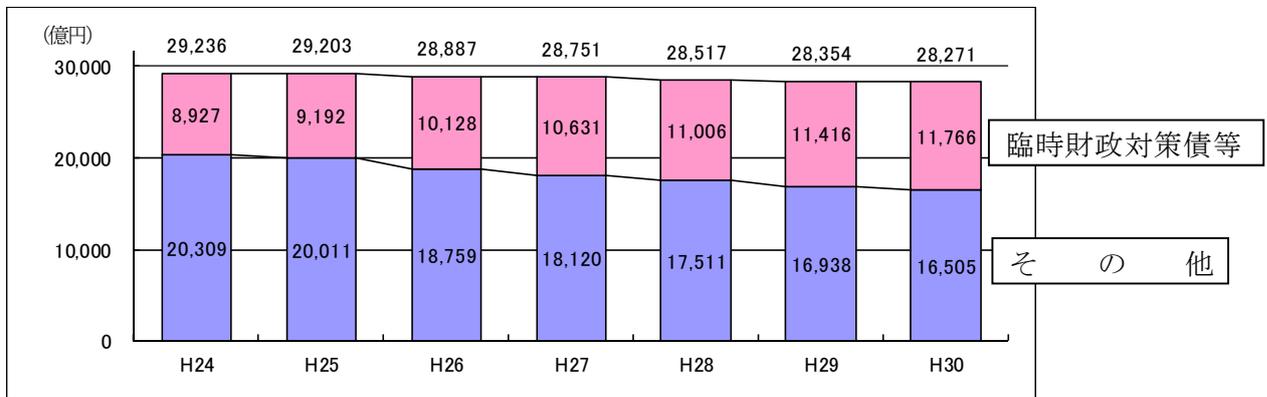
(3) 基金残高 **4,793 億円 (対前年度比+88 億円、H29 末 4,705 億円)**

・公共施設等の老朽化対策等のため、その他特定目的基金の積み立て (+76 億円) 等により増加。



(4) 地方債残高 **2兆8,271 億円 (対前年度比▲83 億円、H29 末 2兆8,354 億円)**

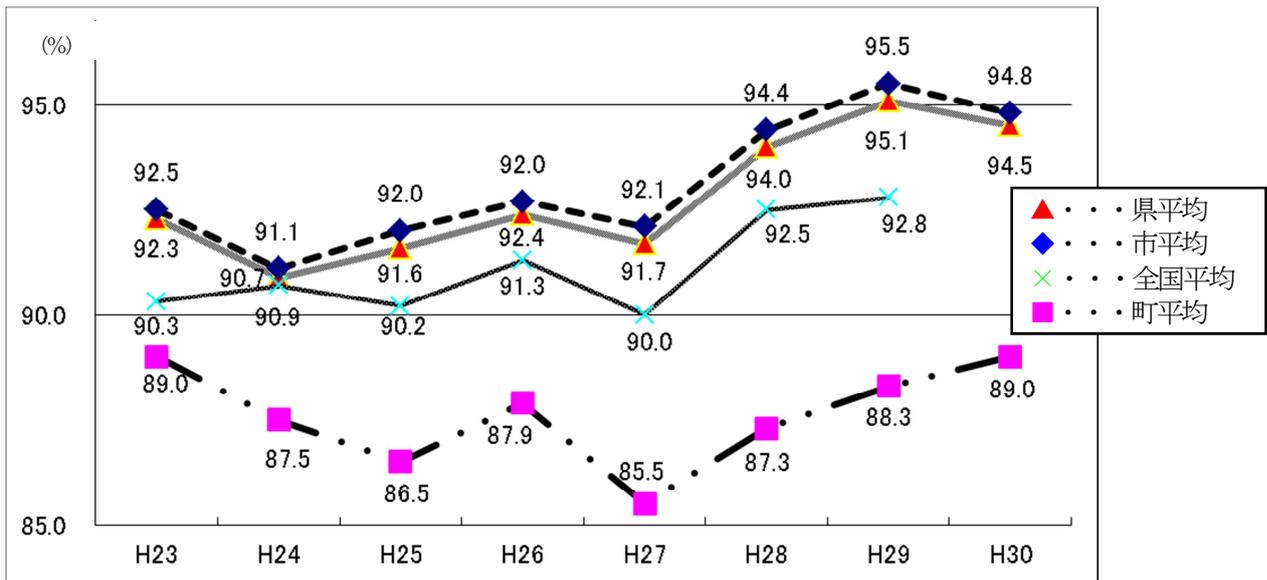
・繰上償還の実施等により、償還額が起債額を上回ったため、全体で0.3%減少。
 ・平成11年度(4兆503億円)以降、引き続き減少。



4 財政指標等

(1) 経常収支比率 **94.5% (対前年度比▲0.6ポイント、H29 95.1%)**

・地方税等の経常一般財源等は微増(+5億円)であったが、公債費及び人件費等の経常経費が減少(▲82億円)したため、経常収支比率は平均94.5%となり前年度から0.6ポイント改善。



(2) 健全化判断比率…【別紙1】

以下の健全化判断比率は、30年度決算に基づく各市町の算定結果を速報値としてとりまとめたものであり、今後、変動する場合があります。

① 実質赤字比率

- 実質赤字団体はなし

② 連結実質赤字比率

- 連結実質赤字団体はなし

③ 実質公債費比率

- 早期健全化基準 (25%以上) の超過団体はなし
- 地方債許可団体 (18%以上) は、引き続き2団体 (丹波篠山市、上郡町)
- 25 団体で低下、13 団体で上昇 (変動なし3団体)
 - ・ 下水道事業に係る地方債の償還の財源に充てたと認められる繰入金の減等により、25 団体で数値が低下した。
 - ・ 一方、合併算定替の縮減による標準財政規模の減等により、13 団体で数値が上昇した。
- 最高：上郡町 (18.9%)、最低：播磨町 (▲0.1%)

実質公債費比率の高い団体の状況

(単位：%)

	団体名	30年度 A	29年度 B	増減 A-B	主な増減理由
1	上郡町	18.9	18.5	0.4	減価償却の進捗に伴う固定資産税 (償却資産) の減等により標準財政規模が減 (▲2.9億円)
2	丹波篠山市	18.8	19.1	▲0.3	合併特例事業に係る地方債の償還終了等による元利償還金の減 (▲14.9億円)
3	多可町	17.2	16.8	0.4	下水道事業に係る地方債の償還の財源に充てたと認められる繰入金を増 (0.6億円)

※ 実質公債費比率は3年平均であるため、「主な増減理由」はH30年度とH27年度の増減比較で記載

④ 将来負担比率

- 早期健全化基準 (350%以上) の超過団体はなし
- 33 団体で低下、8 団体で上昇
 - ・ 下水道事業債償還財源への充当繰入見込額の減等により、33 団体で数値が低下した。
 - ・ 一方、こども園整備等に係る地方債の新規発行による地方債現在高の増等により、8 団体で数値が上昇した。
- 最高：上郡町 (189.1%)、最低：播磨町 (▲130.4%)

将来負担比率の高い団体の状況

(単位：%)

	団体名	30年度 A	29年度 B	増減 A-B	主な増減理由
1	上郡町	189.1	203.8	▲14.7	下水道事業債償還財源への充当繰入見込額の減 (▲4.0億円)
2	丹波篠山市	177.0	187.2	▲10.2	地方債の新規発行抑制に伴う地方債現在高の減 (▲4.5億円)
3	淡路市	173.9	191.6	▲17.7	繰上償還の実施等に伴う地方債現在高の減 (▲28.6億円)

(3) 資金不足比率…【別紙2】

- 経営健全化基準 (20%以上) の超過団体はなし。
- 資金不足が生じている事業数は、昨年度より1事業減の5事業 (病院4、交通1) となった。

(4) 県内市町のふるさと納税受入額と住民税控除額の状況…【別紙3】 (単位：百万円)

	H30年度受入額①	R1年度住民税控除額②	差引 ①-②	(参考) 交付税措置後※
市	6,322	11,204	▲4,882	3,521
町	1,179	240	939	1,119
計	7,501	11,444	▲3,943	4,640

※ 交付税措置後は、R1年度住民税控除額②に対する交付税措置 (75%) を考慮した額

<問い合わせ先>

兵庫県企画県民部企画財政局市町振興課財政班 TEL : 078-362-3096

【参考】平成30年度決算主要指標（普通会計） 市町別一覧表

(単位：百万円、%)

団体名	歳入総額		歳出総額		実質収支	実質単年度収支	基金残高	うち		地方債現在高	経常収支比率		標準財政規模 (臨時財政対策債発行可能額含む)	
		増減率		増減率				増減率	増減		増減率	増減		
1神戸市	816,166	▲ 2.2	801,143	▲ 2.9	2,040	▲ 617	54,018	▲ 2.0	12,899	1,095,734	0.6	99.1	▲ 0.3	438,756
2姫路市	208,225	▲ 2.9	198,711	▲ 3.9	5,548	167	52,999	▲ 0.5	14,307	198,894	0.0	86.5	0.4	119,755
3尼崎市	198,039	▲ 0.1	197,251	▲ 0.2	355	3,107	25,048	10.6	6,768	245,377	▲ 2.4	96.5	▲ 2.9	99,998
4明石市	110,409	7.0	109,466	7.1	901	2,955	14,668	24.0	9,337	120,260	0.6	94.4	0.2	58,815
5西宮市	173,129	0.9	172,108	2.0	723	▲ 496	32,855	6.1	22,495	140,385	▲ 1.0	95.3	▲ 1.0	97,038
6洲本市	25,086	3.9	24,689	4.3	229	▲ 298	5,218	▲ 3.8	2,756	32,613	▲ 4.9	89.9	▲ 4.0	13,029
7芦屋市	44,278	▲ 5.3	43,207	▲ 5.8	581	380	12,702	0.7	7,071	52,638	▲ 0.7	102.9	▲ 9.7	22,889
8伊丹市	71,111	▲ 1.3	69,962	▲ 0.7	805	▲ 100	17,240	16.8	7,306	58,546	▲ 3.5	94.3	▲ 0.1	40,965
9相生市	12,683	▲ 4.1	12,256	▲ 4.5	365	▲ 54	2,982	▲ 2.5	1,791	14,016	▲ 5.7	98.7	▲ 0.1	7,988
10豊岡市	47,051	▲ 13.8	44,995	▲ 15.9	851	▲ 397	20,352	▲ 3.0	5,275	54,372	▲ 4.6	90.5	▲ 0.8	28,075
11加古川市	80,440	▲ 1.8	79,413	▲ 2.4	234	187	20,444	▲ 0.7	6,659	71,740	▲ 0.6	93.6	▲ 0.2	48,855
12赤穂市	21,145	2.6	21,051	2.9	56	▲ 484	3,697	▲ 16.4	1,713	30,158	▲ 0.8	84.9	▲ 5.3	12,314
13西脇市	19,036	▲ 3.3	18,844	▲ 2.5	148	▲ 106	10,524	1.0	5,668	20,014	▲ 0.7	89.7	0.6	11,798
14宝塚市	76,463	▲ 1.1	75,625	▲ 1.0	376	98	10,020	5.4	5,617	72,072	▲ 0.1	95.8	0.1	43,971
15三木市	30,740	▲ 5.1	30,464	▲ 5.3	54	7	6,409	▲ 0.7	2,743	38,760	▲ 0.5	92.0	0.8	18,791
16高砂市	35,488	▲ 0.4	34,930	0.3	530	350	5,696	14.3	2,695	35,094	3.6	90.7	▲ 1.1	20,426
17川西市	56,774	▲ 2.9	56,368	▲ 3.0	282	▲ 87	3,783	11.0	1,153	71,109	5.0	96.9	▲ 0.8	30,641
18小野市	20,914	1.8	20,285	1.4	396	▲ 265	9,283	2.9	4,234	18,948	2.3	90.4	▲ 0.4	11,589
19三田市	35,992	▲ 2.6	35,415	▲ 2.8	476	68	6,657	2.2	2,806	35,242	▲ 2.9	96.0	0.0	23,020
20加西市	19,007	▲ 3.4	18,609	▲ 5.0	338	308	3,127	1.1	1,679	19,422	▲ 1.6	91.8	▲ 0.7	11,555
21丹波篠山市	24,039	5.9	23,387	6.2	493	▲ 587	5,030	▲ 12.9	1,512	18,618	▲ 2.4	94.0	▲ 5.2	13,929
22養父市	18,856	▲ 14.1	18,078	▲ 14.8	701	47	14,036	6.7	2,579	16,250	▲ 2.3	88.8	0.7	11,677
23丹波市	40,167	7.9	37,844	7.9	1,396	303	14,171	▲ 2.4	4,919	37,479	5.6	87.0	▲ 0.9	21,269
24南あわじ市	26,568	▲ 3.4	25,808	▲ 4.5	707	1,092	11,081	▲ 3.5	2,794	33,462	▲ 4.6	94.2	2.8	15,853
25朝来市	21,132	▲ 3.3	20,498	▲ 3.4	363	157	9,565	1.4	4,702	24,167	▲ 9.9	89.4	0.6	12,727
26淡路市	28,123	▲ 5.5	27,803	▲ 5.1	103	1,190	12,779	2.2	2,888	40,994	▲ 6.5	88.1	▲ 1.2	17,174
27宍粟市	24,882	1.9	24,305	1.7	437	396	7,457	▲ 4.9	3,110	30,655	1.3	92.0	0.8	14,819
28加東市	19,672	▲ 4.1	19,068	▲ 4.9	538	▲ 99	13,682	1.0	6,103	22,601	3.3	87.2	▲ 0.4	11,839
29たつの市	36,647	5.6	35,805	5.5	675	▲ 1,130	19,836	3.5	6,975	38,500	▲ 0.3	87.4	0.6	21,025
30猪名川町	10,056	▲ 1.5	9,668	▲ 2.5	258	▲ 200	4,513	▲ 4.1	1,913	7,609	▲ 0.5	89.2	▲ 0.7	6,667
31多可町	13,448	7.9	13,347	7.4	67	66	6,377	▲ 5.2	2,883	15,487	3.7	91.3	▲ 4.4	7,819
32稲美町	10,907	▲ 5.9	10,231	▲ 6.1	663	410	5,937	7.6	3,954	9,338	1.0	84.3	0.6	6,729
33播磨町	13,357	9.1	12,778	12.1	541	▲ 2,147	7,126	1.5	2,864	9,146	6.8	93.3	3.0	6,798
34市川町	6,983	10.7	6,911	11.6	69	▲ 116	1,420	▲ 2.3	730	6,325	15.1	87.9	1.2	3,604
35福崎町	8,976	6.1	8,765	7.0	160	▲ 144	1,620	▲ 5.6	1,262	11,570	2.7	88.3	3.2	5,268
36神河町	10,197	0.7	9,852	0.3	284	▲ 328	3,663	▲ 9.5	1,383	13,023	8.5	95.0	1.7	4,965
37太子町	11,112	▲ 3.4	10,641	▲ 4.8	357	292	3,085	8.2	1,991	11,063	▲ 0.3	88.3	▲ 0.3	7,051
38上郡町	7,350	▲ 2.8	7,245	▲ 2.9	104	▲ 96	853	▲ 6.4	521	9,477	▲ 2.1	99.3	2.6	4,765
39佐用町	12,940	4.1	12,839	4.1	93	1,146	9,655	0.2	2,665	12,934	▲ 4.7	82.2	0.4	8,245
40香美町	15,089	5.0	14,546	4.3	410	702	6,262	2.6	3,677	19,292	▲ 2.5	88.1	1.1	8,345
41新温泉町	10,488	▲ 4.2	10,042	▲ 7.0	273	56	3,402	2.2	2,028	13,695	▲ 0.5	85.3	1.5	6,201
合計(神戸市含)	2,342,258	▲ 1.4	2,297,386	▲ 1.8	20,700	6,092	425,357	2.1	160,556	2,688,122	▲ 0.4	94.8	▲ 0.7	1,300,580
合計(神戸市除)	1,526,092	▲ 1.0	1,496,243	▲ 1.2	18,661	6,709	371,339	2.8	147,657	1,592,389	▲ 1.0	92.7	▲ 0.8	861,824
町計	130,902	2.1	126,863	1.9	3,277	▲ 358	53,913	▲ 0.2	25,872	138,960	1.4	89.0	0.7	76,457
県計(神戸市含)	2,473,160	▲ 1.2	2,424,249	▲ 1.6	23,977	5,734	479,270	1.9	186,427	2,827,083	▲ 0.3	94.5	▲ 0.6	1,377,038
県計(神戸市除)	1,656,994	▲ 0.8	1,623,106	▲ 1.0	21,937	6,351	425,252	2.4	173,529	1,731,349	▲ 0.8	92.4	▲ 0.7	938,282

【参考】平成30年度決算主要指標（普通会計） 市町別一覧表

(単位：%)

	実質公債費比率		将来負担比率	増減	徴収率								特別徴収実施率	増減	ラスパイレス指数 (30.4.1)	増減
	増減率	増減			全税目（現繰計）		個人住民税（現繰計）		固定資産税（現繰計）		個人住民税（現年）					
			増減	増減	増減	増減	増減	増減	増減	増減						
神戸市	5.7	▲0.9	71.0	▲7.8	98.4	0.2	97.7	0.4	98.6	0.2	98.9	▲0.1	86.1	3.4	100.8	▲0.2
姫路市	3.6	▲0.6	▲2.6	▲6.3	96.7	0.4	96.0	0.6	96.3	0.4	98.8	0.1	87.8	3.6	101.5	0.0
尼崎市	12.9	▲0.6	88.2	▲14.4	96.2	0.7	93.5	0.8	96.9	0.7	98.0	0.1	84.2	2.8	98.9	0.0
明石市	2.8	▲0.1	28.1	▲13.4	96.3	1.0	96.1	0.4	95.8	1.5	99.0	0.1	88.1	2.3	100.4	▲0.4
西宮市	2.9	▲0.3	8.6	▲10.3	97.1	0.1	98.3	0.1	96.8	0.2	99.3	0.0	85.5	2.9	101.5	0.2
洲本市	15.1	0.2	116.8	▲11.6	95.6	1.4	96.2	1.2	94.3	1.7	99.5	1.2	86.7	8.8	99.8	0.7
芦屋市	10.6	2.3	97.0	6.6	96.5	0.3	94.9	0.3	98.6	0.2	99.6	0.1	84.0	3.1	102.0	▲0.5
伊丹市	6.6	▲0.5	▲29.6	▲22.3	98.3	0.3	97.3	0.5	98.8	0.2	99.2	0.2	86.9	3.6	100.2	▲0.3
相生市	14.0	▲0.3	103.4	▲13.3	97.2	▲0.1	95.6	▲0.2	97.8	▲0.1	98.8	0.1	86.7	4.4	99.1	▲0.4
豊岡市	12.3	0.4	74.8	▲14.6	94.3	0.7	95.1	0.7	92.7	0.7	98.9	0.2	89.4	8.8	95.5	▲0.1
加古川市	2.9	▲0.8	▲38.6	▲0.5	96.4	0.6	96.5	0.7	95.8	0.6	99.3	0.2	87.2	3.0	101.1	▲0.2
赤穂市	10.1	0.7	128.3	▲8.1	95.1	0.3	95.6	0.6	94.3	0.2	99.2	0.1	90.5	4.9	97.7	0.9
西脇市	8.7	0.0	2.0	▲13.1	95.8	0.7	95.7	0.9	95.0	0.5	99.3	0.2	85.7	12.2	99.4	0.1
宝塚市	3.7	▲0.4	22.1	▲8.1	95.4	0.7	95.9	0.8	94.7	0.6	99.2	0.2	84.1	3.3	98.4	▲0.4
三木市	3.3	▲0.5	41.5	▲3.5	96.5	0.4	96.0	0.8	96.1	0.4	99.0	0.2	87.4	4.1	100.1	0.1
高砂市	7.9	▲2.1	71.2	▲3.9	95.9	0.6	95.4	0.8	95.7	0.6	99.0	0.0	88.0	3.1	99.3	▲0.4
川西市	10.7	▲0.7	117.5	11.2	96.2	0.2	97.5	0.0	94.6	0.3	99.2	0.1	84.5	2.8	99.1	▲1.7
小野市	4.0	0.1	▲32.9	6.2	96.9	0.5	95.8	0.6	97.1	0.4	99.0	0.2	88.4	5.2	100.4	0.6
三田市	7.1	▲0.8	▲3.7	▲6.4	96.9	0.3	97.8	0.5	95.5	0.2	99.5	0.2	86.5	2.5	96.7	▲2.2
加西市	7.9	▲0.1	72.7	▲4.2	95.4	0.5	95.4	0.5	94.5	0.5	98.9	0.1	89.6	9.0	99.3	0.4
丹波篠山市	18.8	▲0.3	177.0	▲10.2	95.6	1.0	97.3	1.8	92.5	0.1	99.3	0.4	83.9	6.2	98.0	▲0.9
養父市	5.9	▲1.3	▲54.5	▲18.6	94.7	0.9	96.1	0.2	92.6	1.2	99.1	0.4	88.2	6.1	95.9	0.2
丹波市	6.7	0.4	13.8	▲3.0	95.8	0.4	97.3	0.2	94.1	0.7	99.3	0.2	84.5	8.7	97.1	0.5
南あわじ市	14.1	▲0.2	122.4	▲13.2	91.3	0.7	92.5	0.3	88.7	0.8	98.9	0.4	80.6	7.0	98.0	0.0
朝来市	10.2	0.2	12.4	▲21.4	94.7	0.7	94.2	0.2	94.3	1.1	98.5	▲0.1	88.2	7.9	97.5	0.0
淡路市	14.7	▲0.8	173.9	▲17.7	93.3	1.0	93.1	1.2	92.0	1.1	98.8	0.7	82.8	10.9	99.1	0.4
宍粟市	11.5	▲1.9	102.6	▲8.5	92.6	0.2	94.6	0.5	90.0	▲0.1	98.8	0.2	88.3	1.3	98.0	0.3
加東市	4.7	0.0	▲84.5	1.3	96.6	0.4	95.3	0.0	96.7	0.6	98.8	▲0.1	85.6	7.6	98.8	▲0.3
たつの市	11.8	▲0.6	15.4	▲8.9	94.3	0.6	95.3	0.4	92.2	0.7	98.9	0.0	88.7	6.9	99.1	0.8
猪名川町	2.2	0.7	▲82.6	9.3	94.0	0.6	96.7	0.6	89.9	0.4	99.4	0.2	84.6	2.9	100.1	▲0.8
多可町	17.2	0.4	43.0	5.4	96.8	0.3	97.1	0.6	96.1	0.2	99.4	0.1	90.1	15.5	98.4	▲0.3
稲美町	4.3	▲0.6	▲34.0	▲6.3	95.0	0.3	93.4	0.3	94.5	0.5	98.8	0.0	86.7	3.1	97.5	0.2
播磨町	▲0.1	0.2	▲130.4	▲6.9	96.8	0.6	95.3	1.0	97.0	0.5	99.1	0.4	87.7	3.4	99.5	0.1
市川町	10.6	▲0.3	89.1	15.3	92.7	▲0.1	95.0	0.2	90.0	▲0.4	98.9	0.0	87.1	5.8	97.8	0.4
福崎町	11.0	▲0.5	127.9	▲9.7	96.7	0.4	96.1	0.7	96.4	0.4	99.1	0.2	88.2	5.9	100.2	1.0
神河町	16.3	0.3	56.4	12.2	95.1	▲0.1	94.2	0.2	95.0	▲0.3	98.9	0.4	88.9	6.6	98.6	0.8
太子町	10.2	0.0	73.3	▲20.6	95.6	0.3	95.1	0.4	95.2	0.2	98.8	0.2	87.5	4.0	97.7	▲0.3
上郡町	18.9	0.4	189.1	▲14.7	96.2	0.1	96.6	0.3	96.1	0.1	99.2	0.2	88.2	2.6	97.1	▲0.5
佐用町	4.8	▲1.8	▲64.1	▲19.9	95.4	0.9	97.1	0.3	93.8	1.2	99.2	0.0	92.1	10.6	96.6	▲0.5
香美町	9.5	0.3	77.3	▲14.3	93.8	0.3	97.1	0.5	90.3	0.0	99.5	0.3	82.6	9.6	94.3	▲0.4
新温泉町	10.2	▲0.6	72.6	▲4.2	92.6	▲0.2	96.1	0.2	88.4	▲0.5	99.3	0.2	84.7	7.4	96.0	▲0.2
市計(神戸市含)	6.7	▲0.6	48.0	▲8.4	97.0	0.5	96.7	0.6	96.7	0.5	99.0	0.1	86.2	3.7	-	-
市計(神戸市除)	7.2	▲0.5	36.0	▲8.6	96.3	0.5	96.2	0.5	95.8	0.5	99.0	0.1	86.3	3.9	99.6	0.0
町計	9.1	▲0.1	23.8	▲5.9	95.4	0.4	95.7	0.5	94.3	0.3	99.1	0.2	87.3	5.9	97.5	▲0.2
県計(神戸市含)	6.9	▲0.5	46.7	▲8.2	96.9	0.4	96.7	0.6	96.6	0.5	99.0	0.1	86.3	3.9	-	-
県計(神戸市除)	7.4	▲0.4	35.1	▲8.4	96.2	0.4	96.1	0.5	95.7	0.5	99.0	0.1	86.4	4.1	99.4	▲0.1

【別紙1】県内市町の健全化判断比率一覧

速報値

(単位:%)

市町名	実質赤字比率		連結実質赤字比率		実質公債費比率			将来負担比率		
		(参考) 早期健全 化基準		(参考) 早期健全 化基準		順位	対前年度 増減率 (▲は改善)		順位	対前年度 増減率 (▲は改善)
神戸市	—	11.25	—	16.25	5.7	13	▲ 0.9	71.0	22	▲ 7.8
姫路市	—	11.25	—	16.25	3.6	7	▲ 0.6	(▲2.6)	1	(▲6.3)
尼崎市	—	11.25	—	16.25	12.9	33	▲ 0.6	88.2	29	▲ 14.4
明石市	—	11.25	—	16.25	2.8	3	▲ 0.1	28.1	18	▲ 13.4
西宮市	—	11.25	—	16.25	2.9	4	▲ 0.3	8.6	13	▲ 10.3
洲本市	—	12.95	—	17.95	15.1	37	0.2	116.8	34	▲ 11.6
芦屋市	—	12.24	—	17.24	10.6	26	2.3	97.0	31	6.6
伊丹市	—	11.43	—	16.43	6.6	15	▲ 0.5	(▲29.6)	1	(▲22.3)
相生市	—	13.75	—	18.75	14.0	34	▲ 0.3	103.4	33	▲ 13.3
豊岡市	—	11.90	—	16.90	12.3	32	0.4	74.8	27	▲ 14.6
加古川市	—	11.27	—	16.27	2.9	4	▲ 0.8	(▲38.6)	1	(▲0.5)
赤穂市	—	13.02	—	18.02	10.1	22	0.7	128.3	38	▲ 8.1
西脇市	—	13.08	—	18.08	8.7	20	0.0	2.0	12	▲ 13.1
宝塚市	—	11.36	—	16.36	3.7	8	▲ 0.4	22.1	17	▲ 8.1
三木市	—	12.55	—	17.55	3.3	6	▲ 0.5	41.5	19	▲ 3.5
高砂市	—	12.46	—	17.46	7.9	18	▲ 2.1	71.2	23	▲ 3.9
川西市	—	11.78	—	16.78	10.7	28	▲ 0.7	117.5	35	11.2
小野市	—	13.10	—	18.10	4.0	9	0.1	(▲32.9)	1	(6.2)
三田市	—	12.23	—	17.23	7.1	17	▲ 0.8	(▲3.7)	1	(▲6.4)
加西市	—	13.11	—	18.11	7.9	18	▲ 0.1	72.7	25	▲ 4.2
丹波篠山市	—	12.86	—	17.86	18.8	40	▲ 0.3	177.0	40	▲ 10.2
養父市	—	13.09	—	18.09	5.9	14	▲ 1.3	(▲54.5)	1	(▲18.6)
丹波市	—	12.38	—	17.38	6.7	16	0.4	13.8	15	▲ 3.0
南あわじ市	—	12.72	—	17.72	14.1	35	▲ 0.2	122.4	36	▲ 13.2
朝来市	—	12.98	—	17.98	10.2	23	0.2	12.4	14	▲ 21.4
淡路市	—	12.64	—	17.64	14.7	36	▲ 0.8	173.9	39	▲ 17.7
宍粟市	—	12.79	—	17.79	11.5	30	▲ 1.9	102.6	32	▲ 8.5
加東市	—	13.07	—	18.07	4.7	11	0.0	(▲84.5)	1	(1.3)
たつの市	—	12.40	—	17.40	11.8	31	▲ 0.6	15.4	16	▲ 8.9
猪名川町	—	14.17	—	19.17	2.2	2	0.7	(▲82.6)	1	(9.3)
多可町	—	13.80	—	18.80	17.2	39	0.4	43.0	20	5.4
稲美町	—	14.14	—	19.14	4.3	10	▲ 0.6	(▲34.0)	1	(▲6.3)
播磨町	—	14.12	—	19.12	▲ 0.1	1	0.2	(▲130.4)	1	(▲6.9)
市川町	—	15.00	—	20.00	10.6	26	▲ 0.3	89.1	30	15.3
福崎町	—	14.83	—	19.83	11.0	29	▲ 0.5	127.9	37	▲ 9.7
神河町	—	15.00	—	20.00	16.3	38	0.3	56.4	21	12.2
太子町	—	14.03	—	19.03	10.2	23	0.0	73.3	26	▲ 20.6
上郡町	—	15.00	—	20.00	18.9	41	0.4	189.1	41	▲ 14.7
佐用町	—	13.69	—	18.69	4.8	12	▲ 1.8	(▲64.1)	1	(▲19.9)
香美町	—	13.66	—	18.66	9.5	21	0.3	77.3	28	▲ 14.3
新温泉町	—	14.35	—	19.35	10.2	23	▲ 0.6	72.6	24	▲ 4.2
市平均	—	/	—	/	6.7	/	▲ 0.6	48.0	/	▲ 8.4
市平均(神戸市除)	—	/	—	/	7.2	/	▲ 0.5	36.0	/	▲ 8.6
町平均	—	/	—	/	9.1	/	▲ 0.1	23.8	/	▲ 5.9
県平均	—	/	—	/	6.9	/	▲ 0.5	46.7	/	▲ 8.2
県平均(神戸市除)	—	/	—	/	7.4	/	▲ 0.4	35.1	/	▲ 8.4
25団体で改善、13団体で悪化								33団体で改善、8団体で悪化		

注1 実質赤字比率、連結実質赤字比率について、赤字が生じない団体は「—」で表示。
 注2 将来負担比率について、公債費充当可能財源等が将来負担額を上回るため比率が算定されない団体は、「—」で表示。
 (下段括弧書きで、公債費充当可能財源等の超過率を参考表示。)
 注3 順位は、比率の低い順。
 注4 平均は、加重平均による。

【別紙2】県内市町の資金不足比率の状況

事業	団体	H30年度		H29年度		備考
		資金不足額 (百万円)	資金不足 比率 (%)	資金不足額 (百万円)	資金不足 比率 (%)	
病院	西宮市	175	3.8	379	8.2	不良債務削減を目的とした一般会計からの補助金により資金不足額は減少
	宝塚市	1,214	12.0	1,307	12.3	引当金が増加したものの、現金預金や未収金の増加等により資金不足額は微減
	川西市	571	14.1	789	16.9	一般会計からの繰入金の増加により、資金不足比率は改善 (平成31年4月から指定管理者制度へ移行し、経営改革を進めている。)
	加西市	312	6.5	191	4.1	医業収益は改善したものの、収益増を見込んだ一般会計繰入金の減少分までは収益を上げられず、資金不足比率は悪化
	たつの市	0	-	68	4.2	病床利用率の向上により医業収益が増加し、資金不足を解消
交通 (自動車 運送)	神戸市	1,824	18.3	1,715	16.8	乗車料収入の減収による営業収益の減少等により、資金不足比率が悪化

● 経営健全化基準…資金不足比率20%以上

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金不足額(流動負債} - \text{流動資産} - \text{解消可能資金不足額)}}{\text{事業の規模}}$$

【別紙3】県内市町別ふるさと納税受入額と住民税控除額の状況

(単位:千円)

No	市町名	H30年度 受入額①	R1年度住民税控除額		①-②	①-③
			②	うち交付税措置 なし(25%)③		
1	神戸市	423,933	4,407,475	1,101,869	▲ 3,983,542	▲ 677,936
2	姫路市	113,738	762,678	190,670	▲ 648,940	▲ 76,932
3	尼崎市	37,314	667,538	166,885	▲ 630,224	▲ 129,571
4	明石市	102,826	471,345	117,836	▲ 368,519	▲ 15,010
5	西宮市	52,554	1,697,436	424,359	▲ 1,644,882	▲ 371,805
6	洲本市	1,389,394	47,676	11,919	1,341,718	1,377,475
7	芦屋市	50,699	610,356	152,589	▲ 559,657	▲ 101,890
8	伊丹市	52,019	297,990	74,498	▲ 245,971	▲ 22,479
9	相生市	37,275	23,379	5,845	13,896	31,430
10	豊岡市	179,628	49,285	12,321	130,343	167,307
11	加古川市	147,301	341,267	85,317	▲ 193,966	61,984
12	赤穂市	81,875	42,018	10,505	39,857	71,370
13	西脇市	166,160	31,292	7,823	134,868	158,337
14	宝塚市	158,558	668,431	167,108	▲ 509,873	▲ 8,550
15	三木市	258,404	84,370	21,093	174,034	237,311
16	高砂市	55,296	103,207	25,802	▲ 47,911	29,494
17	川西市	116,797	278,026	69,507	▲ 161,229	47,290
18	小野市	197,388	38,975	9,744	158,413	187,644
19	三田市	85,738	243,219	60,805	▲ 157,481	24,933
20	加西市	714,716	56,466	14,117	658,250	700,599
21	丹波篠山市	137,622	73,969	18,492	63,653	119,130
22	養父市	403,026	11,125	2,781	391,901	400,245
23	丹波市	121,813	29,165	7,291	92,648	114,522
24	南あわじ市	360,876	34,923	8,731	325,953	352,145
25	朝来市	438,605	12,854	3,214	425,751	435,391
26	淡路市	233,398	30,850	7,713	202,548	225,685
27	宍粟市	96,791	15,779	3,945	81,012	92,846
28	加東市	31,369	32,751	8,188	▲ 1,382	23,181
29	たつの市	76,905	40,212	10,053	36,693	66,852
30	猪名川町	26,960	46,699	11,675	▲ 19,739	15,285
31	多可町	93,785	10,392	2,598	83,393	91,187
32	稲美町	33,417	59,452	14,863	▲ 26,035	18,554
33	播磨町	1,100	37,536	9,384	▲ 36,436	▲ 8,284
34	市川町	250,230	6,824	1,706	243,406	248,524
35	福崎町	22,427	16,127	4,032	6,300	18,395
36	神河町	19,732	3,937	984	15,795	18,748
37	太子町	365,941	31,893	7,973	334,048	357,968
38	上郡町	147,807	8,117	2,029	139,690	145,778
39	佐用町	19,514	6,504	1,626	13,010	17,888
40	香美町	135,521	6,227	1,557	129,294	133,964
41	新温泉町	63,110	6,585	1,646	56,525	61,464
	全市町計	7,501,562	11,444,350	2,861,093	▲ 3,942,788	4,640,469

(再計)

区分	H30年度 受入額①	R1年度住民税控除額		①-②	①-③
		②	うち交付税措置 なし(25%)③		
市	6,322,018	11,204,057	2,801,020	▲ 4,882,039	3,520,998
町	1,179,544	240,293	60,073	939,251	1,119,471
全市町計	7,501,562	11,444,350	2,861,093	▲ 3,942,788	4,640,469

◇財政・健全化判断比率用語集

1 財政関係

形式収支	歳入決算総額から歳出決算総額を単純に差し引いた額
実質収支	形式収支から、翌年度へ繰り越した事業の財源として収入済みの歳入額を控除した、実質的な決算。地方公共団体の黒字（赤字）は、これにより判断される。
単年度収支	当該年度の実質収支から前年度の実質収支（前年度までの決算剰余金）を差し引いた、当該年度だけの収支額
実質単年度収支	単年度収支に含まれる実質的な黒字要素である財政基金積立金や赤字要素である財政基金取崩額を控除した額
標準財政規模	地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう一般財源の規模を示すもので、標準収入額等に普通交付税を加算した額
経常収支比率	<p>県税、普通交付税などの経常的な一般財源収入のうち、人件費や施設維持費などの経常的経費に充当された一般財源の割合。数値が低いほど財政の弾力性が高いことを示す。</p> <p>○経常経費充当一般財源／経常一般財源総額</p>
普通会計	一般会計と特別会計のうち公営事業会計以外の会計を1つの会計としてまとめたもの
公営事業会計	公営企業（水道、病院、交通など）、国民健康保険事業、介護保険事業、老人保健医療事業、収益事業（競馬、競艇、宝くじなど）、農業共済事業など独立採算を原則とする事業の会計
一般会計	地方公共団体の行政運営の基本的な経費を網羅して計上した会計で、地方公共団体の会計の中心をなすもの
特別会計	一般会計に対し、特定の歳入歳出を一般の歳入歳出と区別して別個に処置するための会計
臨時財政対策債	地方一般財源の不足を補填するために、本来地方交付税として交付されるべき額の一部を振り替えて発行される特例地方債（地方公共団体が借入れ、後年度の償還費について全額地方交付税に算入される。）

2 健全化判断比率関係

<p>実質赤字比率</p>	<p>一般会計等における実質赤字の標準財政規模に対する割合を示す指標であり、早期健全化基準は標準財政規模に応じて 11.25%～15.0%、財政再生基準は 20%である。</p> <p>○ 一般会計等の実質赤字額 / 標準財政規模</p>
<p>連結実質赤字比率</p>	<p>全会計における実質赤字（又は資金不足額）の標準財政規模に対する割合を示す指標であり、早期健全化基準は標準財政規模に応じて 16.25%～20.0%、財政再生基準は 30%である。</p> <p>○ $\{(A+B)-(C+D)\} / \text{標準財政規模}$</p> <p>A＝一般会計等のうち、実質赤字を生じた会計の実質赤字の合計額 B＝公営企業会計のうち、資金の不足額を生じた会計の資金不足額の合計額 C＝一般会計等のうち、実質黒字を生じた会計の実質黒字の合計額 D＝公営企業会計のうち、資金の剰余額を生じた会計の資金剰余額の合計額</p>
<p>実質公債費比率</p>	<p>公債費による財政負担の度合いを判断する指標として、起債に協議を要する団体と、許可を要する団体の判定に用いられるもの。18%以上となる団体については、起債に当たり許可が必要となる。また、早期健全化基準は 25%、財政再生基準は 35%である。</p> <p>○ $\{(A+B+C)-(D+E)\} / (F-E)$ の 3 か年平均</p> <p>A＝当該年度の元利償還額（繰上償還分は除く） B＝準元利償還金（公営企業への繰入金、債務負担行為のうち公債費に準ずるもの等） C＝減債基金積立不足に対する加算（※） D＝元利償還金又は準元利償還金に充てられた特定財源 E＝ 〃 に対する基準財政需要額算入分 F＝標準財政規模（含む、臨時財政対策債発行可能額）</p> <p>（※）減債基金積立不足に対する加算 $a \times (1 - b / c)$ a＝満期到来時における実質償還額（満期一括償還地方債） b＝前年度末減債基金残高 c＝前年度末あるべき減債基金残高</p>
<p>将来負担比率</p>	<p>一般会計等が将来負担することが見込まれる実質的な負債の標準財政規模に対する割合を示す指標であり、早期健全化基準は 350%である。</p> <p>○ $\{(A) - (\text{充当可能基金等} + \text{交付税算入見込額})\} / (\text{標準財政規模} - \text{交付税算入額})$</p> <p>※A（将来負担額）の内容</p> <p>① 一般会計等の地方債現在高 ② 債務負担行為に基づく支出予定額（公債費に準ずるもののみ） ③ 一般会計等以外の会計における地方債の元金償還に充てるための繰出見込額 ④ 加入する組合等における地方債の元金償還に必要な負担見込額 ⑤ 一般会計等が負担する退職手当支給予定額 ⑥ 設立した法人の負債の額等、その者のために債務を負担している場合の負担見込額（公社、第3セクター等の損失補償額等及び制度融資等の損失補償額） ⑦ 連結実質赤字額 ⑧ 組合等の連結実質赤字額のうち、一般会計等の負担見込額</p>
<p>資金不足比率</p>	<p>公営企業ごとの資金不足額の事業規模に対する比率資金不足額</p> <p>○ $(A) / \text{事業の規模}$</p> <p>※A 資金不足額の内容</p> <p>① 法適用企業 （流動負債＋資金手当債等残高－流動資産）－解消可能資金不足額（※※） ② 法非適用企業 実質赤字額＋資金手当債等残高－解消可能資金不足額（※※）</p> <p>※※解消可能資金不足額 事業の性質上、一定の期間、構造的に資金不足が発生する場合に、資金不足額から控除する一定の額</p>